

おわりに

DX事業協同組合
喜多 一

なぜ、「DX認定」を取得しない？

お金がかかる。

申請が難しい。
更新が難しい。

時間がかかる。



DX認定

DX推進者が
いない。

何も
準備できてない。

AIの
使い道がない。

「いやあ、うちにはムリ・ムリ。」

(生成AIに問いかけてみた)

中小ソフトウェア開発会社の「DX」推進が立ち遅れている理由を教えてください。

中小ソフトウェア開発会社がDX（デジタル・トランスフォーメーション）推進において遅れを取る主な理由には、以下のような課題が挙げられます。

1. リソース不足

大企業と比べて、資金や人材が限られているため、新しい技術の導入やデジタル化に必要な投資が難しいことがあります。

2. 専門知識の不足

DXを進めるには、クラウド、AI、IoTなどの技術に関する深い知識が必要ですが、専門のITエンジニアが不足しているケースが多いです。

3. 既存システムとの統合の難しさ

古いシステムを使い続けている企業では、新しいデジタル技術との統合が難しく、スムーズな移行が困難になります。

生成AIは難しくとらえすぎ！

(生成AIに問いかけてみた)

中小ソフトウェア開発会社の「DX」推進が立ち遅れている理由を教えてください。

4. 経営層の理解不足

経営者がDXの重要性を十分に理解していない場合、積極的な推進が行われず、現状維持の方針が続くことがあります。

5. 短期的な利益への偏重

DXは長期的な視点での投資が必要ですが、短期の収益を優先するため、変革への投資が後回しにされることがあります。

6. 文化・組織の変革の難しさ

デジタル化を推進するには社内の意識改革が不可欠ですが、新しい働き方や変化を受け入れにくい企業文化が「DX」の障害となることがあります。

こうした課題を解決するためには、外部の専門家と連携したり、社内教育を強化したりすることが重要です。特に、小規模な企業ほど柔軟な経営判断ができるため、部分的な「DX」から始めることで負担を軽減しながら進めることが可能です。

(生成AIに問いかけてみた)

なぜ、DX認定を所得する企業数は少ないのですか？

1. 認定基準の厳しさ

DX認定制度は「デジタルガバナンス・コード」に基づき、企業の「DX」戦略や体制の整備を求めています。そのため、基準を満たすための準備が難しく、取得を断念する企業もあります。

2. 申請プロセスの負担

申請には詳細な計画書や企業の「DX」推進状況の報告が必要であり、特に中小企業にとっては負担が大きいとされています。

3. DX推進の優先度の違い

企業によっては、DXよりも短期的な収益向上や既存業務の効率化を優先するため、認定取得に積極的でないケースがあります。

4. 認定のメリットの認知不足

DX認定を取得することで、企業イメージの向上や金融支援措置の活用が可能ですが、そのメリットが十分に認知されていないため、取得を検討する企業が少ない可能性があります。

5. デジタル人材の不足

「DX」推進には専門的な知識を持つ人材が必要ですが、多くの企業がデジタル人材の確保に苦勞しており、認定取得のハードルが高くなっています。

「DX」に着手していない、余裕がない…。？。

実は既にけっこう「DX」が進んでいませんか？

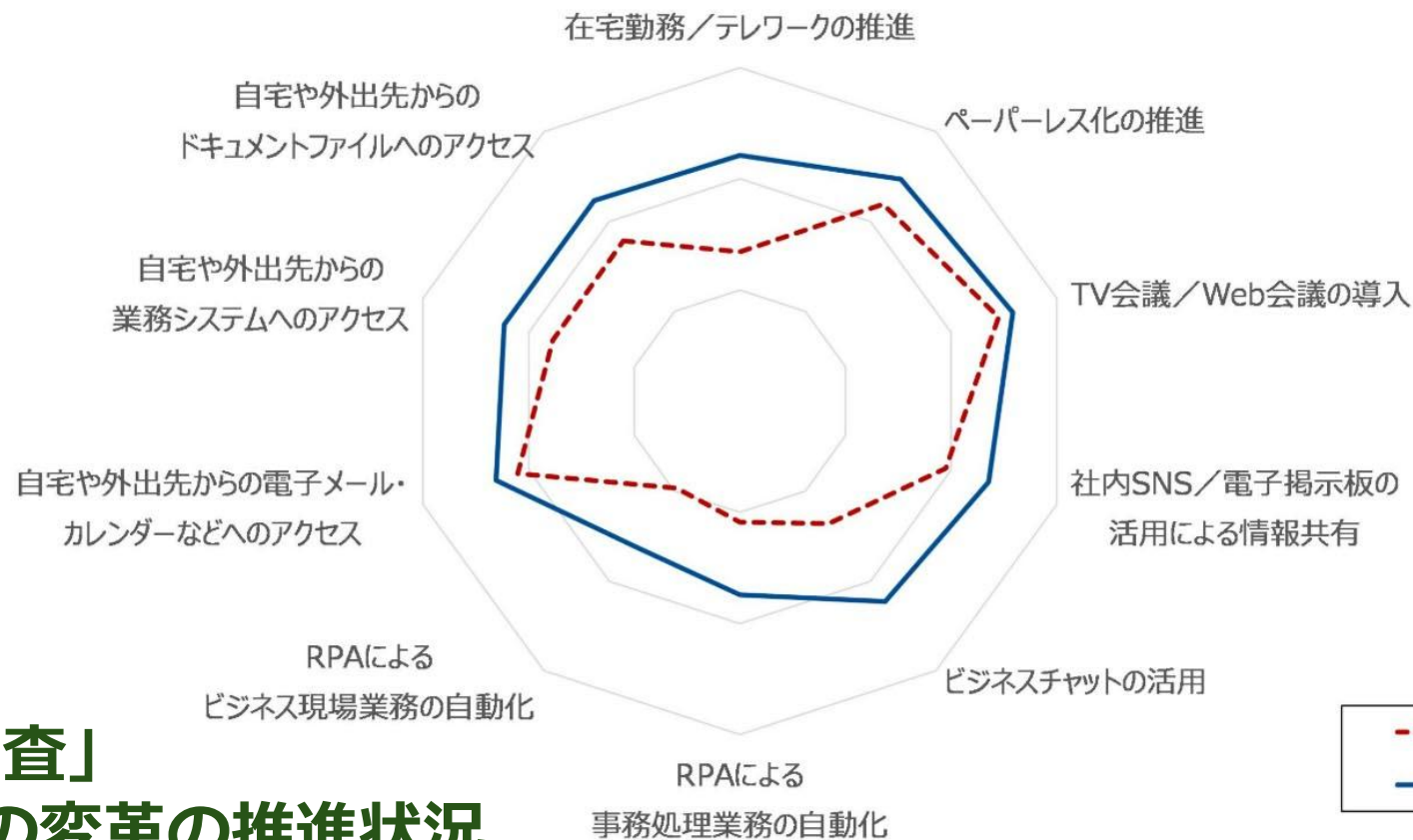
DX人材は本当にいませんか？

生成AIを使いこなせないと「DX」はできないですか？

**当たり前すぎて気が付いていないだけでは？
難しく考えすぎでは？**

経済産業省「DX支援ガイダンス別冊」をご覧ください。

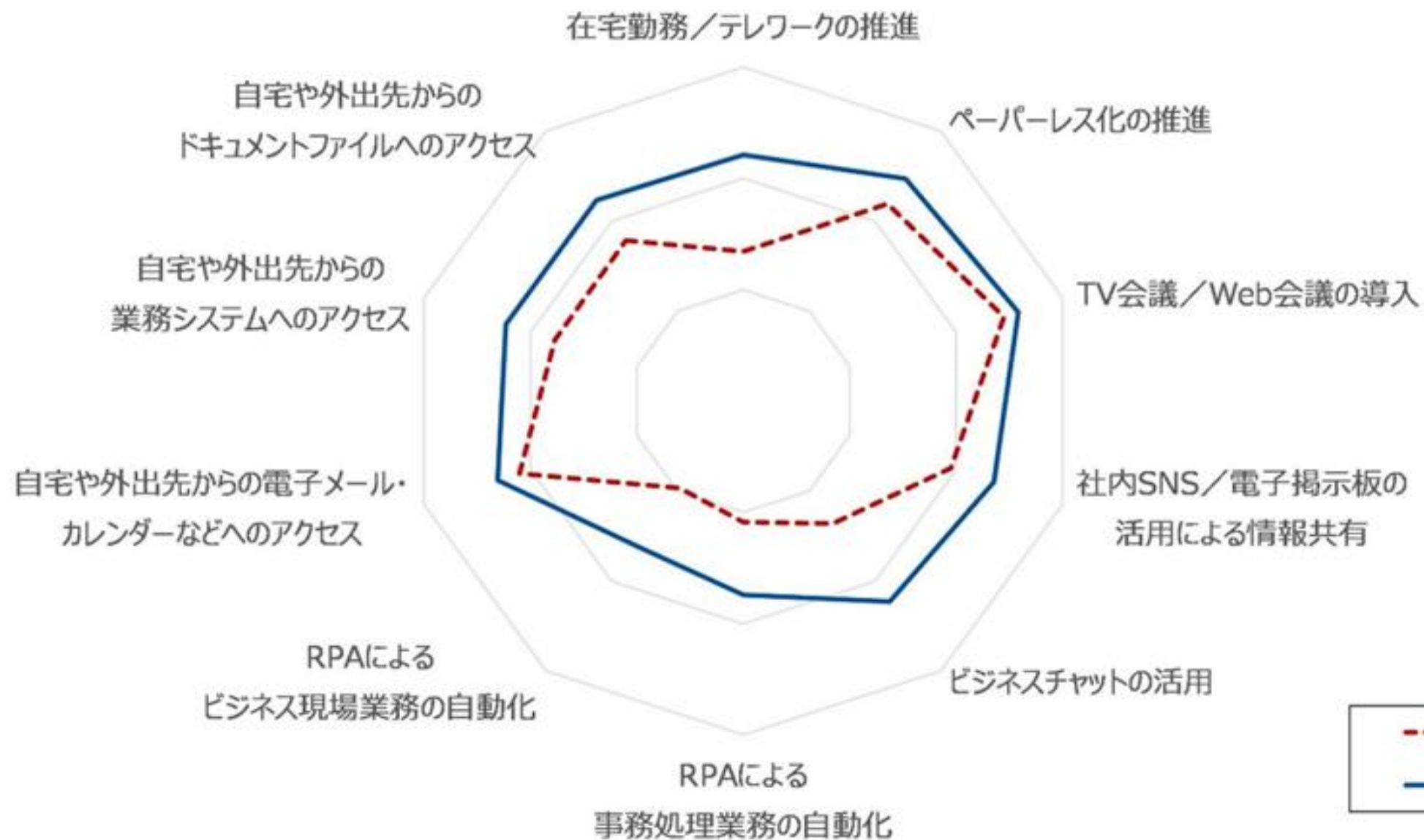
図2. 働き方・組織運営の変革の推進状



ITR「DX成熟度調査」 働き方・組織運営の変革の推進状況

© 2025, ITR Corporation All rights reserved.

図2. 働き方・組織運営の変革の推進状況（出典：ITR「DX成熟度調査」（2020年6月／2025年6月調査））



© 2025, ITR Corporation All rights reserved.

図2. 働き方・組織運営の変革の推進状況（出典：ITR「DX成熟度調査」（2020年6月／2025年6月調査））

使っていませんか？

クラウド環境の活用、電子申請、オンラインバンキング、
グループウェア、ワークフロー、ファイル共有、オンライン会議、
勤怠管理、経費精算、受発注管理、プロジェクト原価管理、
電子契約書、給与計算システム等…。
(アナログな運用からデジタルへ)

- 業務の変革（トランスフォーメーション）は進んでいるはず。

ほとんどの開発会社は「8合目」あたりまで既に到達

(DX事業協同組合メンバー企業の状況)

- DX認定取得の準備の8割は既にできているはず。

↓ (後は、**対外広報と申請のみ!**)

- ホームページの改修・情報掲載
- 申請書の作成・提出→フィードバック・確認・修正→再提出

DX認定の申請・審査・更新は厳しい？ 時間がかかる？費用がかかる？



小規模事業者

申請料： ￥52,382
 審査料： ￥209,524
 付与登録料： ￥52,382
 合計： **￥314,288**

2年ごと更新

JISに基づく審査項目を
クリアする必要がある

中小企業部門

申請料： **￥15,000**

毎年更新

1年以上の活動実績と
調査項目の基準クリアが
必要

申請料： **￥0**

2年ごと更新

経済産業省が定める
「デジタルガバナンス・
コード」に沿った
取り組みの計画と宣言。

申請料： **￥0**

更新なし

「SECURITY ACTION」の
25項目を実践した後、
自己宣言宣言。

「DX認定」は
会社が「DX」推進に取り組んでいることを
経済産業省（国）が認めた唯一の証し（エビデンス）



DX認定



**Digital Transformation
Certification**

国が推進する「DX認定」を起点として、経営のDX推進を考える。

“超人材獲得難の時代”

2027・2028年度新卒採用は、

「DX認定」で差をつけましょう！

本日は有難うございました。

